

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基 本 目 標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政 策 目 標 5 多様な暮らしが選べ、快適に暮らせるまちに
重 点 的 取 組 4 手軽に出かけ、移動できる環境を整える

担当課名	建設部 都市・建築局 都市計画課
予算科目	会計 01 一般会計
	款 02 総務費
	項 01 総務管理費
	目 12 生活交通対策費

事業名	自主運行バス運営事業	事業開始年度	平成 8 年度
	自主運行バスの運行	根拠法令 条例 個別計画等	自主運行バス運行協定書、廿日市市生活交通再編計画

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	路線バスの運行していない地区等のバス利用者	市民が手軽に出かけ、移動できる環境を整える。（生活交通として最低限の運行確保）

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	交通事業者	・ 自主運行バスの運営。 ・ 交通事業者への負担金の支払い。

3 平成26年度 決算（活動実績・コスト情報・目標到達度）

実施した事業の内容（活動実績）

・市自主運行バスの運行

路線名等	運行事業者	内 容
佐伯さくら号①	佐伯交通	自主運行バス（玖島朝夕便）、デマンド交通（玖島友和線・所山線）
佐伯さくら号②	津田交通	自主運行バス（浅原朝夕便）、デマンド交通（浅原線・飯山中道線）
吉和さくらバス	津田交通	デマンド交通（吉和線）
その他経費		佐伯地域バス関連施設（畝巻公園）の維持管理等（佐伯支所執行）

・事業費関連

【歳入】

生活交通路線維持費補助金60,000 円

過疎債ソフト分（吉和さくらバス）6,400,000 円

計6,460,000 円

【歳出】

路線名等	決算額（円）		
	負担金※1	その他経費	計
佐伯さくら号①	9,180,888		9,180,888
佐伯さくら号②	6,899,844		6,899,844
吉和さくらバス	6,469,417		6,469,417
その他経費		369,624	369,624
計	22,550,149	369,624	22,919,773

※1 負担金とは、運行費用と運賃収入の差額で、赤字となった補てん額をいう

コスト情報（円）

項 目	平成 25 年度決算	平成26年度決算①	①のうちH25から繰越	H26からH27へ繰越	
直接事業費 A	55,973,426	22,919,773			
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	1,797,000	60,000		
	借入金（市債）	3,600,000	6,400,000		
	その他（使用料など）				
	市（市税など）	50,576,426	16,459,773		
人件費（按分）B	1.00 人 8,486,000	1.00 人 8,574,000			
総事業費（A+B）	64,459,426	31,493,773			
単位換算	人口（4月1日現在）	117,680 人			117,182 人
	市民1人当たり	548			269
	利用者数	317,230 人			288,384 人
	利用者一人あたり	203	109		

到達度目標

活動及び成果指標	単位	H25実績値	H26目標値	H26実績値	H27目標値	備考
活動	市自主運行バス路線数	路線	8	8	8	
成果	市自主運行バス利用者数	人	317,230	390,000	288,384	400,000